

第4期地域福祉実践計画

令和4年度進捗状況評価 報告書

令和5年10月

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会
合同（総務・地域福祉）部会

《 目 次 》

1. 最終評価の概要	P 2
2. 評価結果についての全般的な意見	P 3
3. 評価結果	
(1) 基本計画毎の令和4年度進捗状況総括表	P 6
(2) 令和4年度基本計画・実践事業進捗状況評価表	
▶ 基本計画1	P 9
▶ 基本計画2	P21
▶ 基本計画3	P26
▶ 基本計画4	P31
▶ 基本計画5	P36
▶ 基本計画6	P43
4. 評価方法（参考）	P58

2. 評価結果についての全般的な意見

第4期地域福祉実践計画の令和4年度進捗状況の最終評価結果及びその全般的な意見は次のとおりである。

基本計画では、6基本計画全て「予定通り推進された」と判断し【3】（基準点）の評価とした。

実践事業では、評価対象43事業全て【3】以上となり、この内6事業を【4】の評価とした。（本来49事業だが「江別ふれあい福祉の広場の開催」「地域福祉活動者研修会の開催」「ハーフデイボランティアスクールの開催」「いきいきシニアスクールの開催」については、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止したため評価対象外とした。また、「役員・評議員研修の実施」は隔年開催のため令和4年度は実施年度ではなく、「地域の福祉課題の把握」は令和5年度にアンケート調査実施予定となっており、両事業とも当初から実施予定ではなかったことから評価対象外としている。）

コロナ禍では、これまで福祉の相談やサービス利用したことのなかった人たちから生活福祉資金特例貸付や生活困窮状態にある人からの相談が急増した。こうした課題へ対応するため、令和4年度は基本計画1の「地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制の支援」に重点を置いた取り組みを実施してきた。

生活福祉資金の貸付では、コロナ禍で実施した特例貸付において、申請件数が減少しない状況下にあつて、度重なる受付期間が延長される中で、令和4年9月末日の受付終了まで滞りなく相談支援を実施したこと、ならびに貸付相談と並行して借受人へのフォローアップとして、償還免除や償還猶予などの適切な支援に努めた。また、貸付相談等を通して表面化した生活困窮課題に対しては、くらしサポートセンターえべつ（生活困窮者自立支援制度）へつなぎ、返済負担を抱えながらも生活の立て直しができるよう必要に応じて家計改善支援事業、就労支援、メンタルケアなどを通じて支援したことを評価し、関連事業を【4】の評価とした。

また、権利擁護事業では、地域連携ネットワークの中心となる中核機関業務を新たに受託し、成年後見制度の利用促進と相談支援体制を強化したこと、ならびに日常生活自立支援事業では関係機関等からの新規利用相談が大幅に増加したことに対応し、適切にサービス利用につなげることができたことから【4】の評価とした。

一方、人と接したり、ふれあいを推進する活動は新型コロナウイルスの影響が大きく、活動実績は前年度に引き続き低迷しているが、ボランティア関連事業ではコロナ禍への対応を模索しながらの取り組みの中、非接触型ボランティアの推進やICT活用に取り組み【3】の評価とした。

実践事業の評価は、個別事業ごとの実績に内容や質を加味して総合的に判断した。また、明らかに新型コロナウイルスの影響を受け実績低下したと認められる事業については、社協の努力だけではどうすることもできない外部環境が要因であることから【3】の評価を基本とした。

全体としては、生活困窮者の生活再建やコロナ禍で顕在化したさまざまな生活課題に向き合い、適切な支援を講じていることを評価した。

個別事業については次のとおり整理し提言するので、今後の事業推進の参考としていただきたい。

事業名	部会意見等
広報活動による福祉情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ホームページの運営について、セキュリティ機能を強化するURL「https」の使用を検討していただきたい。 ▶ ホームページ上の福祉センター貸室申込（オンライン申込）のPRを強化した方が良い。
生活困窮者自立支援事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「どこに相談したら良いのかわからない」時の相談先として、くらしサポートセンターえべつが果たしている役割は大きい。今後は福祉事業所等とのネットワークを活かした包括的な支援の更なる強化に努めていただきたい。
生活福祉資金の貸付	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 償還困難な相談者に対し、償還免除など不安軽減につながる適切な相談支援をしていただきたい。
江別市ボランティア団体連絡会の運営	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティア間の連絡手段のデジタル化について、今後も次世代ICTの活用に取り組んでいただきたい。
雪処理への支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雪の処理情報誌の発行については、福祉という分野に限らずニーズが多いと実感している。ふだん社協に関わりのない市民も社協を知るきっかけとなっている。 ▶ 除雪派遣サービスは、除雪作業員の確保が課題。大学生など若い力を掘り起こす働きかけも検討していただきたい。
総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合的な学習の時間への協力を通して、小学生に対しては福祉体験をする機会を提供できているので、今後は中・高・大学生に対し福祉を体験できる道筋をつくってもらいたい。

3. 評価結果

(1) 基本計画毎の令和4年度進捗状況総括表	P6
(2) 令和4年度事業評価書	P9

基本計画毎の令和4年度進捗状況総括表

▶ 基本計画1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

実践事業	合同部会評価	事務局評価
基本計画1の全体評価	3	3
1. 広報活動による福祉情報の提供	3	3
2. 福祉サービスの適正化・苦情対応	3	3
3. 生活課題に対応した総合的な相談支援	3	3
<p>【生活困窮者自立支援事業の実施】は、相談支援・家計支援・住居確保給付金の相談窓口として生活困窮者支援に取り組んだほか、ひきこもり当事者と家族の居場所づくりの場として「シエスタ」を開催した。</p> <p>【権利擁護の体制整備と相談支援】は、中核機関業務を新たに受託し、専門職派遣、地域連携ネットワークを組織するといった新たな取り組みを行った。</p> <p>【生活福祉資金の貸付】は、新型コロナウイルス特例貸付を4年9月末日まで新規申込受付を行ったほか、借受人からの返済が見通せない等の相談対応を平行して行った。</p>		

▶ 基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

実践事業	合同部会評価	事務局評価
基本計画2の全体評価	3	3
1. ボランティアセンターの運営	3	3
2. ボランティアの育成・確保	3	3
<p>前年度に引き続き、コロナ禍においてボランティア活動は大きな制約を受けた。特に福祉施設での活動は回復せず、個人宅での傾聴ボランティアや手作り品を福祉施設へ寄贈するといった非接触型ボランティアを継続実施した。</p> <p>【江別市ボランティア団体連絡会の運営】は、ICTの活用に取り組み、連絡用ツール「LINE WORKS」を導入し、会員団体を対象とした説明会を開催して普及を図った。</p>		

▶ **基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進**

実践事業	合同部会評価	事務局評価
基本計画3の全体評価	3	3
1. 愛のふれあい交流事業の実施	3	3
2. 江別市共同募金委員会との協働	3	3
3. 江別ふれあい福祉の広場の開催	—	—
4. 企業・団体の地域貢献活動への支援	3	3
<p>【愛のふれあい交流事業の実施】では、昨年に引き続き、地域交流の集い活動において新型コロナウイルスの影響で交流会を訪問活動等に振り替えた場合等の特例助成制度を継続実施した。</p> <p>【江別ふれあい福祉の広場の開催】は、コロナ禍により事業を中止した。</p> <p>【企業・団体の地域貢献活動への支援】は、企業・団体から例年より多くの緊急支援用食糧品寄贈があり、くらしサポートセンターえべつを通じて生活困窮者支援につなぐことができた。</p>		

▶ **基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成**

実践事業	合同部会評価	事務局評価
基本計画4の全体評価	3	3
1. 地域福祉活動者研修会の開催	—	—
2. 福祉施設での体験学習	3	3
3. 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力	3	3
4. いきいきシニアスクールの開催	—	—
<p>【地域福祉活動者研修会の開催】【ハーフデイボランティアスクールの開催】【いきいきシニアスクールの開催】はコロナ禍により事業を中止した。</p> <p>【ワークキャンプの開催】は新型コロナウイルスの感染拡大により、急遽中止した日程も発生したが、静苑ホーム様のご助力のもと1日の日程のみではあったが高校生が冬休みに施設で体験学習を行うことができた。</p>		

▶ 基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

実践事業	合同部会評価	事務局評価
基本計画5の全体評価	3	3
1. 雪処理への支援	4	4
2. 高齢者・障がい者給食サービスの実施	3	3
3. 障がい児者移動支援事業の実施	3	3
4. 福祉機器の貸与	3	3
5. 北光保育園・野幌季節保育所の運営	3	3
<p>【雪処理への支援】は、令和3年度豪雪の影響を受け、雪処理関連の問合せが多く寄せられ、雪の処理情報誌が数多く活用された。また、除雪派遣サービスでは除雪作業員の確保に苦慮したが、全ての利用対象世帯にサービスを提供することができた。</p> <p>【北光保育園・野幌季節保育所の運営】は、保育所の運営について江別市、地元自治会、父母と協議を進め、野幌季節保育所は令和4年度をもって閉所し、令和5年度より北光保育園と統合して運営することを決定した。</p>		

▶ 基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

実践事業	合同部会評価	事務局評価
基本計画6の全体評価	3	3
1. 組織体制の整備	3	3
2. 財源基盤の整備	3	3
3. 事務事業の改善	3	3
4. 地域の福祉課題の把握	—	—
5. 総合社会福祉センターの管理運営	3	3
6. 防災・災害対策の推進	3	3
7. 地域福祉実践計画の進行管理	3	3
<p>全体を通して、ほぼ予定通り推進した。</p> <p>成年後見制度の中核機関受託に伴い権利擁護係を新設、ならびに職員増員し組織体制の強化を図った。また、評議員・役員の構成人数の変更、野幌季節保育所の閉所といった課題への対応を進めた。</p>		

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	1. 広報活動による福祉情報の提供 重点 (1) 社協だより「幸せな社会」の発行				①
事業内容	当協議会の事業・サービスに対する市民の声や身近な地域活動等、わかりやすい誌面内容により年4回自治会の協力や公共施設等に設置し広報。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>自治会の協力を得て年4回全戸配布する他、公共施設への配置や企業への送付を通して市内全域に広報活動を展開。広報編集委員会4回開催（令和4年7月号、10月号、令和5年1月号、4月号の編集）。写真・カラー印刷により市民にわかりやすい編集に努める。</p> <p>【令和4年7月号から令和5年4月号までの主な掲載内容】</p> <p>社協の相談支援実践例の紹介、社協職員による出前講座、愛のふれあい交流事業活動事例の紹介、「通いの場」情報・ボランティア団体の紹介、リフレえべつガイドヘルパー募集、成年後見制度講演会開催、除雪サービスのご案内、えべつ雪の処理情報誌発刊、歳末見舞金のご案内、居場所「シエスタ」開催のお知らせ</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協で実施している様々な事業の周知をするとともに市民にわかりやすい編集に努めた。 ・ 社協事業だけでなく地域の様々な福祉活動掲載にも力を入れ市民にPR。 	

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	1. 広報活動による福祉情報の提供 重点 (2) ホームページの運営				②
事業内容	当協議会やボランティア団体の活動・福祉サービスの内容等をリアルタイムな情報を掲載。また、適宜、情報更新。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>社協やボランティア団体の活動及び福祉サービスの内容など様々な福祉情報を市民により見やすく掲載し、適宜更新。</p> <p>【主な掲載内容】 「通いの場」訪問だよりの掲載、福祉センター貸室オンライン予約申込フォーム掲載、共同募金助成先団体内訳、社協だより「幸せな社会」掲載。</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
内容を随時更新し、タイムリーに情報提供。					

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	1. 広報活動による福祉情報の提供 重点 (3) 社協事業活動の説明				③
事業内容	年度毎、計画的に各関係団体の会議等で社協紹介パンフレット等を活用し、社協事業について説明・周知。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>北翔大学等の要請により、学生に社協事業内容説明、また地区民生委員児童委員協議会へ歳末見舞金品贈呈事業の説明を行った。</p> <p>2022年版社協要覧を第2種、第3種・第4種会員及び市へ配布し社協についてPR。</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
<p>コロナ禍のため限られた件数しか依頼がなかったが、着実に対応した。</p>					

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	2. 福祉サービスの適正化・苦情対応				④
事業内容	当協議会が実施する福祉サービス・活動に対する市民の苦情・批判・意見へ円滑に対応。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>社協事業の福祉サービスなどに苦情や要望等があった場合、随時、円滑な対応を実施。</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪に関する苦情に対する対応 ・ 募金活動に関する苦情に対する対応 ・ 特例貸付に関する苦情に対する対応 ・ 雪の処理情報誌掲載事業所の対応について

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>電話対応だけでなく、現地に出向いての対応も実施。</p> <p>雪の処理情報誌掲載事業所への苦情対応として第三者委員会を招集し、対応について助言を求めた。</p>	

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3. 生活課題に対応した総合的な相談支援 (1) 生活困窮者自立支援事業（くらしサポートセンターえべつ）の実施				⑤
事業内容	生活上の悩みごとを抱え支援が必要な方の課題を関係機関との協働により解決し、自立した生活が送れるように包括的・総合的に相談支援。				
事業区分	市受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>相談者の自立支援対策の充実と支援のネットワークづくりを推進。</p> <p>【相談支援実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規相談件数：407件 支援延べ回数：4,265回 プラン作成件数：79件 支援調整会議：41回 <p>【事業周知実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業説明、情報提供のための訪問等～5か所 <p>【就労支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労支援関係事業所（ハローワーク等）との連携 就労準備支援事業所（しごとサポートセンターコクリ）との連携 企業訪問（3社） くらしサポートセンターえべつ無料職業紹介所の運営 江別版中間的就労への取り組み（延べ62人：2社と協定締結） <p>【居場所「シエスタ」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO法人レターポストフレンド相談ネットワークと協働し、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりの場を開催。開催回数：5回、延べ参加人数126人 <p>【ボードゲーム交流会の開催】</p> <p>居場所「シエスタ」の全日程終了後、引き続き参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として開催 開催回数：5回 延べ参加人数20人</p> <p>【家計支援実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家計に関する助言や滞納解消及び債務整理に関する支援、貸付の斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援した。 実介入件数：新規23件、延べ249件、プラン作成件数19件 <p>【住居確保給付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行った。 実相談件数67件 延相談件数104件 支給決定件数20件 <p>【ネットワークづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議の開催。参加機関：26機関 参加者31人

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のピークは過ぎたものの、4年度も多くの相談が寄せられ対応に追われた。 ひきこもりの方や就労に至る前段階にある方への外出機会や就職につながる各種体験の実施、企業等とのネットワークづくりに努める等により一層相談者の自立支援対策の充実に注力。 					

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3, 生活課題に対応した総合的な相談支援 (2) 権利擁護の体制整備と相談支援 ア. 日常生活自立支援事業の実施				⑥
事業内容	高齢や障がいにより福祉サービスの利用や生活費管理等に不安を抱えている在宅で生活している方を対象にその支援や書類を管理。				
事業区分	道社協受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>相談を受けた自立生活支援員が提供するサービスの計画（生活支援計画）を作成。契約後は、計画に基づき生活支援員が利用者のもとに出向きサービスを提供。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約件数 34件（新規契約18件） ・ 生活支援員数 34人 ・ 支援内容 福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行う。自立生活支援員は必要な相談や調整を行い、具体的な援助について生活支援員に指示。

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
<p>利用者の日々のニーズや新規相談へきめ細かく、的確に対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度は特に新規契約者が多かった。 ・ 成年後見支援センターとも連携し一体的に権利擁護支援を推進。 					

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3. 生活課題に対応した総合的な相談支援 (3) 生活安定のための貸付金を活用した相談支援 ア. 生活福祉資金の貸付				⑧
事業内容	北海道社会福祉協議会の資金貸付事業の相談窓口となり、民生委員・児童委員の協力を得て、4種類の資金の貸付を実施。				
事業区分	道社協受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)	
【貸付実績】	生活福祉資金 236 件 (福祉費 2 件、教育支援資金 14 件、緊急小口資金 115 件、総合支援資金 105 件)
【コロナ特例】	令和2年3月25日から開始した、新型コロナウイルス特例貸付は、度重なる受付期間延長を経て令和4年9月末まで実施。 令和4年度は222件の新規受付に平行し、「償還免除」「執行猶予」手続きを行い借受人の不安軽減に努めた。
【生活資金相談員の配置】	依然として多い貸付相談と業務量に対応するため令和4年度も生活資金相談員を配置。道社協に対し、令和5年度も生活資金相談員配置経費の補助を要請し決定。 ◆くらしサポートセンターえべつとも連携し相談者の自立に向けた貸付相談を実施。

事務局評価		部会評価							
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
評価理由									
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ特例の終了に伴い、新規相談は前年度より減少したが、多くの償還免除や猶予手続き、家計相談を受理した。 ・くらしサポとも連携し、家計のみならず就労支援やメンタルケアを実施した。 									

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3. 生活課題に対応した総合的な相談支援 (3) 生活安定のための貸付金を活用した相談支援 イ. 特別生活資金の貸付				⑨
事業内容	北海道社会福祉協議会の資金貸付事業の相談窓口となり、冬期間の生活資金の貸付を実施。				
事業区分	道社協受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>冬期の生活（灯油代）を確保するための資金の貸付を令和4年10月から実施。</p> <p>【新規貸付件数】 0件（3年度1件）</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>予定通り実施したが新規申込はなかった。</p>	

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3. 生活課題に対応した総合的な相談支援 (3) 生活安定のための貸付金を活用した相談支援 ウ. 福祉金庫の貸付				⑩
事業内容	一時的に生活資金が必要となった世帯に貸付を実施。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>4万円を限度として、生活費を貸付。アの生活資金相談員が対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉金庫管理委員会(1回)に諮り、長期滞納世帯償還金を免除、資産内容の健全化を図った。 ・くらしサポートセンターえべつとも連携し相談者の自立に向けた貸付相談を実施。 <p>【貸付件数】 58件(3年度49件) 【貸付金額】 2,142,000円 【償還金額】 2,257,520円</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> ・貸付原資を確保し、円滑に貸付を実施。 ・くらしサポと連携し自立支援の一環として機能を発揮。 ・コロナ特例貸付終了後、限られた支援策として機能。前年度より件数増となった。 					

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3. 生活課題に対応した総合的な相談支援 (4) ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援				⑪
事業内容	当協議会に登録している相談活動を主とするボランティア団体の協力を得て、様々な心配ごと・不安への対応や制度への橋渡しの相談活動を実施。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会の協力により実施。</p> <p>・「幸せな社会」「広報えべつ」への掲載によりPRしている。特に、「幸せな社会」で毎号PR。</p> <p>【悩みごとテレホン相談】 火曜日：相談件数 41件 金曜日：相談件数 16件</p> <p>【認知症の介護相談】 木曜日：相談件数 14件</p> <p style="text-align: right;">合計 71件 (3年度 51件)</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
予定通り実施。	

事業評価書

基本計画	1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				事業番号
実践事業名	3. 生活課題に対応した総合的な相談支援 (5) 生活支援体制整備事業の実施				⑫
事業内容	生活支援コーディネーターを配置するとともに関係機関と協働し、多様な生活支援サービスが提供される地域づくりを進めるため、市民の様々な福祉活動の実態を把握し、市民主体の福祉サービスや助けあい活動実施について相談と支援を実施。				
事業区分	市受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>生活支援や介護予防の充実を図ることを目的に、地域住民が「支え合いのまちづくり」を進めていくうえでの助言や、通いの場情報誌の更新版発刊、訪問だよりの発行、社協広報誌にて通いの場などの開催状況の掲載（シリーズ化）、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働、地域活動への参加等、関係機関・団体とのネットワークづくりを推進し、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。</p> <p>【会議への参加】延べ26回 ・第1層・2層生活支援コーディネーター会議など</p> <p>【研修会への参加】延べ7回 ・事業の展開に必要な知識の習得、情報交換などの研修</p> <p>【関係機関との情報交換・収集・提供活動】延べ95回</p> <p>【地域活動への参加】延べ109回 ・地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加</p> <p>【第2層生活支援コーディネーターへとの協働】延べ36回 ・活動調整、同行等</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通いの場情報誌更新版の発刊 ・通いの場訪問だよりの発行 ・広報活動(情報誌、訪問だより配付含む) ・個人、団体や事業所からの問い合わせ対応

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サロンへの参加を通じ、事業推進上必要なつながりを多く持つため、可能な限り訪問に努めた。新型コロナウイルスの影響で4年度も大きな制約を受けたが3年度と比べサロン再開の機運が醸成されつつある。 ・「通いの場」情報誌更新版の作成・配布は、地域に点在する市民主体の活動を幅広く周知する方策として効果有り。 	

事業評価書

基本計画	2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり				事業番号
実践事業名	1. ボランティアセンターの運営 重点 (1) ボランティア活動の相談・登録・活動先紹介				⑬
事業内容	市民に広く活動の相談・登録窓口であることを周知し、幅広い人材を募り、活動先を紹介・確保。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>ボランティア活動の相談受付・登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保を実施。</p> <p>【社会福祉施設等へのボランティア協力】 活動実績 延べ1,281人(3年度728人)</p> <p>【登録者】 団体会員・個人登録1,544人(フレンティア、傾聴登録者含む)</p> <p>【傾聴ボランティア】活動実績 延べ97人(3年度は89人) (内訳:施設0人 個人97人)</p> <p>【ボランティア登録】令和4年度新規登録1団体で、合計60団体登録</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
昨年度から継続して、非接触型ボランティア活動を推進した。(尿パックカバーやズボンカバー、手袋、靴下を手作りして福祉施設へ寄贈)					

事業評価書

基本計画	2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり				事業番号
実践事業名	1. ボランティアセンターの運営 重点 (2) ボランティア活動の基盤整備				⑭
事業内容	ボランティア活動保険の加入促進・登録ボランティア団体への活動費の助成等安心して活動に取り組める基盤を整備。				
事業区分	自主事業・市補助事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費の助成 前記(1)の活動協力に対し交通費を助成。 延 1,281人 512,400円 ・ 各種民間助成金の案内と取りまとめ 老後を豊かにするボランティア活動資金助成、北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業、道新ボランティア奨励賞、大和証券福祉財団ボランティア活動助成事業 <p>【ボランティア活動保険取扱い件数】 3,191人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金を交付。 <p>【交付実績】 59団体 1,204,750円</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
保険加入及び活動費助成を予定通り実施。	

事業評価書

基本計画	2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり				事業番号
実践事業名	1. ボランティアセンターの運営 重点 (3) 江別市ボランティア団体連絡会の運営				⑮
事業内容	登録ボランティア団体で構成されるボランティア団体連絡会を円滑に運営し、団体間の情報交換・交流を促進。				
事業区分	自主事業（協働事業）	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）

ボランティアセンター登録団体により構成される連絡会と社協が協働してボランティア活動を推進。但し令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大により、活動は低調であった。

活動の継続を図るためインターネットを活用した取り組みを模索。「ICT活用検討委員会」を立ち上げ取り組み内容を協議した。

【総会及び役員会】

総会及び役員会を開催

【加入団体数】 59 団体

【主な活動実績】

- ・3年度ボランティア活動報告書の作成・配布とホームページへの掲載。
- ・ICT活用検討委員会を立ち上げ、ボランティア団体との連絡ツール構築を目指した。(4回開催)
- ・上記連絡ツールを「LINE WORKS」とし、アプリケーションソフトの導入説明会を開催した。
- ・災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会受講
令和4年6月13日 オンライン

事務局評価					部会評価				
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
評価理由									
コロナ禍においては、ボランティア活動報告書を作成・配付したほか、災害ボランティア組織の活動を学んだ。また、インターネット機器の活用を模索した。									

事業評価書

基本計画	2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり				事業番号
実践事業名	2. ボランティアセンターの育成・確保 (1) ボランティア活動者研修の開催				⑬
事業内容	ボランティア実践者や市民を対象に、活動に取り組む契機とし、知識・技術の向上を図る機会として開催。				
事業区分	自主事業（協働事業）	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>石狩地区ボラネットスキルアップ研修会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和5年3月6日 ・参加人数 15人 <p>ボランティア団体を対象に「LINE WORKS 導入説明会」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和5年3月7日 ・参加者数 35人

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら実施した。 					

事業評価書

基本計画	2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり				事業番号
実践事業名	2. ボランティアセンターの育成・確保 (2) 傾聴ボランティアの育成				⑰
事業内容	「コミュニケーションバンク」実行委員会を実施主体として養成研修を開催し、研修修了者は、傾聴ボランティアとして具体的な活動に派遣。				
事業区分	自主事業（協働事業）	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>社協と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティアで行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施。</p> <p>【養成研修】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>【スキルアップ研修】 北海道総合福祉研究センター主催の「全道傾聴フォーラム」をスキルアップ研修と位置付けし、傾聴ボランティアを参加派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和4年11月20日(日) ・参加者数 10人 ・内容 傾聴活動の知識・技法等について、参加者毎希望の分科会に出席し学習。 <p>【利用実績】 ・利用者数 5人（3年度7人） ※協力実績は延べ97人</p> <p>【傾聴ボランティア実行委員会】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<p style="text-align: center;">評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対応として、回数や時間を制限しながら実施した。 	

事業評価書

基本計画	3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	事業番号				
実践事業名	1. 愛のふれあい交流事業の実施 重点 (1) 愛のふれあい活動の実施	⑱				
事業内容	ボランティアグループを編成して、ひとり暮らし高齢者等への安否確認、声かけや必要に応じた助けあい活動を行う自治会を支援。					
事業区分	市補助事業(協働事業)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">方向性</td> <td style="width: 15%;">継続</td> <td style="width: 20%;">4年度の方針</td> <td style="width: 50%;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)																				
<p>【実施状況】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">自治会数</th> <th style="width: 15%;">対象世帯数</th> <th style="width: 15%;">ボランティア延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江別地区</td> <td>15 自治会</td> <td>384 世帯</td> <td>544 人</td> </tr> <tr> <td>野幌地区</td> <td>26 自治会</td> <td>548 世帯</td> <td>997 人</td> </tr> <tr> <td>大麻地区</td> <td>24 自治会</td> <td>492 世帯</td> <td>723 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>65 自治会</td> <td>1,424 世帯</td> <td>2,264 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実施割合】 65 自治会 ÷ 163 自治会 = 39.8% (3 年度 65 自治会)</p>		自治会数	対象世帯数	ボランティア延人数	江別地区	15 自治会	384 世帯	544 人	野幌地区	26 自治会	548 世帯	997 人	大麻地区	24 自治会	492 世帯	723 人	合 計	65 自治会	1,424 世帯	2,264 人
	自治会数	対象世帯数	ボランティア延人数																	
江別地区	15 自治会	384 世帯	544 人																	
野幌地区	26 自治会	548 世帯	997 人																	
大麻地区	24 自治会	492 世帯	723 人																	
合 計	65 自治会	1,424 世帯	2,264 人																	

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施自治会数の増を目指して、様々な機会を利用して活動実施に向けて働きかけて行くことが必要であるが、新型コロナウイルスの長期化により説明の機会がほとんどなく、また同様の理由で自治会活動も低調であった。 	

事業評価書

基本計画	3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進				事業番号
実践事業名	1. 愛のふれあい交流事業の実施 重点 (2) 地域交流の集い活動の実施				①9
事業内容	地域の高齢者・障がい者等のために助けあい活動の一環として、引きこもりを予防し、心身のリフレッシュを目的に交流活動を行う自治会を支援。				
事業区分	市補助事業(協働事業)	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)		
【実施状況】	自治会数	事業数
江別地区:	19自治会	50事業
野幌地区:	18自治会	54事業
大麻地区:	16自治会	51事業
合計	53自治会	155事業
【実施割合】 53自治会÷163自治会=32.5% (3年度 50自治会 123事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア行事用保険掛金助成・加入手続を実施するとともに、「愛のふれあい交流事業実施マニュアル」の活用を促す。 ・29年度から助成金の透明性の確保のため自治会収支決算書への助成金収支の記載を依頼。 ・交流会の開催を企画してもコロナの影響でやむなく訪問活動に切り替えた場合にも助成金を充当できる特例制度を継続した。 		

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・実施自治会数の増を目指して、様々な機会を利用して活動実施に向けて働きかけて行くことが必要であるが、新型コロナウイルスの長期化により説明の機会がほとんどなく、また同様の理由で自治会活動も低調であったが、特例制度の利用等により昨年度と比較すると若干事業実績が増加した。 	

事業評価書

基本計画	3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	事業番号				
実践事業名	2. 江別市共同募金委員会との協働	⑳				
事業内容	江別市共同募金委員会事務局として広報活動や募金活動を担い、市民の福祉意識を醸成、また、歳末たすけあい募金を活用し、生活にお困りの世帯へ見舞金を贈呈。					
事業区分	自主事業（協働事業）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">方向性</td> <td style="width: 15%;">継続</td> <td style="width: 25%;">4年度の方針</td> <td style="width: 45%;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>【共同募金委員会事務局】 募金目標額の設定、予算・決算の事務、募金活動全般への協力。寄付金付ピンバッジ等を活用した募金活動を展開した。</p> <p>【歳末見舞金品贈呈】 社協だより10月号で事業を周知、民生委員児童委員の調査により、生活困窮世帯を把握する。該当世帯・金額等を審査委員会で決定し、12月に贈呈。4年度より原則振込みにて見舞金を贈呈した。</p> <p>【贈呈結果】 1人世帯 380世帯 2人世帯 130世帯 3人以上世帯 105世帯 合計 615世帯（3年度は521世帯） ★贈呈額は、1世帯 2,000円</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
予定通り実施。	

事業評価書

基本計画	3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進				事業番号
実践事業名	3. 江別ふれあい福祉の広場の開催				②1
事業内容	実行委員が中心となり、市民と福祉団体が交流し、ノーマライゼーションの考え方を普及することを目的に開催。				
事業区分	自主事業（協働事業）	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
評価対象外事業とした。	

事業評価書

基本計画	3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	事業番号				
実践事業名	4. 企業・団体の地域貢献活動への支援	②②				
事業内容	企業・団体が行う社会貢献活動や地域行事等への協力要請に対し、活動先の紹介や連絡調整また活動備品の貸出等により支援。					
事業区分	自主事業（協力事業）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">方向性</td> <td style="width: 15%;">継続</td> <td style="width: 30%;">4年度の方針</td> <td style="width: 40%;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）																
<p>【活動備品の貸出】 自治会・団体・施設等の行事に対し、テント及び机等活動備品を貸出。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">・テント</td> <td style="width: 15%;">2 施設</td> <td style="width: 15%;">5 団体</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>・机</td> <td>4 施設</td> <td>11 団体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・椅子</td> <td>3 施設</td> <td>5 団体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td colspan="3">9 施設、21 団体（3年度 3 施設、6 団体）</td> </tr> </table> <p>【地域貢献への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株）ダイナム（緊急支援用食料寄贈） ・江別ロータリークラブ（介護用電動ベッド寄贈） ・角山開発（株）（緊急支援用食料寄贈） ・北海道コカ・コーラボトリング（株）（福祉施設への清涼飲料水寄贈） ・後藤建設（株）カーブス事業部（緊急支援用食料寄贈） ・江別建設業協会（高齢者宅の除雪作業） ・江別ロータリークラブ、札幌地方自動車整備振興会江別支部（車いす点検・整備） ・江別グリーンライオンズクラブ（緊急支援用お米券寄贈） 	・テント	2 施設	5 団体		・机	4 施設	11 団体		・椅子	3 施設	5 団体		合 計	9 施設、21 団体（3年度 3 施設、6 団体）		
・テント	2 施設	5 団体														
・机	4 施設	11 団体														
・椅子	3 施設	5 団体														
合 計	9 施設、21 団体（3年度 3 施設、6 団体）															

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・所有しているテント等の備品貸出を円滑に実施し、地域活動等への支援につなげた。市内イベントが徐々に再開され、貸出件数は昨年度に比較して増加した。 ・企業、事業所等の社会貢献活動が円滑にできるように、連絡調整等を積極的に実施。 	

事業評価書

基本計画	4 体験学習、研修による福祉意識の醸成	事業番号				
実践事業名	1 地域福祉活動者研修会の開催	㉓				
事業内容	自治会関係者や市民を対象に、高齢者等への支援事業・制度についての講演や情報提供及び意見交換を通して、地域福祉を考え、支援の輪を広げていくことを目的に開催。					
事業区分	自主事業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">方向性</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">継続</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">4年度の方針</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>自治会関係者を対象に、交流事業等で活用可能なレクリエーション等を学ぶ内容を企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>評価対象外事業とした。</p>	

事業評価書

基本計画	4 体験学習、研修による福祉意識の醸成				事業番号
実践事業名	2 福祉施設での体験学習 (1) ワークキャンプの開催				②④
事業内容	老人福祉・保健施設等の協力を得て高校生を対象に、利用者との交流や介助体験を通して、生きる尊さや支えあう心の大切さを学ぶ機会として開催。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>市内の高校生を対象に開催。 新型コロナウイルス感染拡大のため夏休みについては中止。 冬休みについては感染対策を行い、福祉施設での体験学習を行った。</p> <p>【開催状況】 静苑ホーム: 令和5年1月12日(木) 参加者3人。(3年度4人)</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
福祉施設で実際の体験学習ができたことはコロナ禍において、大きな収穫であった。					

事業評価書

基本計画	4 体験学習、研修による福祉意識の醸成	事業番号				
実践事業名	2 福祉施設での体験学習 (2) ハーフデイボランティアスクールの開催	②⑤				
事業内容	知的障がい者施設等の協力を得て小中高生を対象に、活動体験を通して、地域の福祉に関心を持ち、ボランティア活動に取り組むきっかけとなることを目的に開催。					
事業区分	自主事業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">方向性</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">継続</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">4年度の方針</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>小中高校生を対象に福祉施設等での半日程度の体験学習。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
評価対象外事業とした。	

事業評価書

基本計画	4 体験学習、研修による福祉意識の醸成	事業番号				
実践事業名	3 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力	②⑥				
事業内容	学校から総合的な学習の時間へ協力要請があった場合、体験用具の貸し出しや協力先の紹介、また、学校や大学の自主的な福祉活動や地域との協働事業実施の際の協力要請に対応。					
事業区分	自主事業（協力事業）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">方向性</td> <td style="width: 15%;">継続</td> <td style="width: 25%;">4年度の方針</td> <td style="width: 45%;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸出やボランティア派遣を通して協力しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑似体験セットの貸出 小学校 10 校 ・ 車椅子の貸出 小学校 5 校

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
備品貸出はもとより様々な要請に対処対応。	

事業評価書

基本計画	4 体験学習、研修による福祉意識の醸成				事業番号
実践事業名	4 いきいきシニアスクールの開催				②⑦
事業内容	江別市シルバーウィーク期間中に、身近な生活・健康上の話題をテーマとして高齢期の生きがいづくりや地域との関わりについて考える機会として開催。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>高齢者クラブ連合会関係者を対象に研修会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<p>評価理由</p> <p>評価対象外事業とした。</p>	

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	1 雪処理への支援 重点 (1) 福祉除雪サービスの実施				②⑧
事業内容	高齢者や障がい者世帯等を対象に、公道除雪後に残された玄関前・車庫前の置き雪を除雪専用車で横に置き換える作業を実施。				
事業区分	市受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【実施期間】 令和4年11月1日～令和5年3月31日</p> <p>【実施内容】 9月上旬に自治会へ回覧による事業の周知、 3年度利用者へ申込の案内、社協だより令和4年10月号で事業内容を広報し、利用者取りまとめを行った。</p> <p>【契約事業者】 江別環境整備事業協同組合</p> <p>【結果】 利用世帯数 974 世帯 (3年度 884 世帯)</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
<p>評価理由</p> <p>利用世帯のサービスに対する様々な意見や申し出に対し、組合と連携し対応。年々件数が増加しているがサービスを継続することができた。</p>					

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	1 雪処理への支援 重点 (2) 除雪派遣サービスの実施				②9
事業内容	高齢者や障がいのある方等を対象に、公道除雪出動日に除雪作業員が玄関から道路までの通路の除雪を実施。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)	
【実施期間】	令和4年12月1日～令和5年3月31日
【実施内容】	3年度利用者への申込の案内、社協だより令和4年10月号に事業内容を広報し、利用者取りまとめを行った。
【契約業者】	江別市シルバー人材センター他
【結果】	利用世帯数 168 世帯 (3年度 132 世帯) ・シルバー以外に独自の作業員の確保やサポートセンターこねくと等の協力も得て対応。また札幌勤労者企業組合とも業務委託契約を締結したほか、新聞地域欄に掲載いただいたことにより作業員を確保し、利用対象全世帯にサービスを提供することができた。

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用世帯に対し、事業所や個人等の協力を得て、作業員を確保し支障なく実施。 ・今後も作業員の確保に努めることが必要。 	

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	1 雪処理への支援 重点 (3)「えべつ雪の処理情報誌」の作成				③⑩
事業内容	市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪や屋根の雪降ろしなど雪処理を行う事業所の情報を掲載した情報誌を作成し、公共施設への設置や自治会への提供を実施。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>冬の困りごと「雪処理問題」を解消する一助として、雪処理を行う事業者を調査したものをまとめた情報誌を発行。10月上旬に市内全自治会へ回覧、主要公共施設等へ配置、ホームページへの掲載により市民に情報提供。</p> <p>【掲載協力事業者】 28社 (3年度と同数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすい誌面づくりに努め、多数寄せられた除排雪の問題に対して有効に活用。 ・商工会議所を通して新規掲載について働きかけ。 ・雪処理を行う事業者一覧を社協だより令和4年10月号に掲載。

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り実施。 ・公共施設から多くの追加依頼があった。 ・掲載事業所への苦情があり苦情対応事業により対応を行った。 	

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	2 高齢者・障がい者給食サービスの実施				③①
事業内容	疾病・障がいにより、食事の支度が困難なひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦世帯等の食生活の安定と健康保持のため夕食を安否確認も得て提供。				
事業区分	市受託事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>【配食数】 50,390食（3年度 59,472食）</p> <p>【登録世帯数】 157世帯 180人（3年度 177世帯 206人）</p> <p style="padding-left: 20px;">日 総 40,761食</p> <p style="padding-left: 20px;">配食のふれあい 9,629食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送と同時に安否確認を実施しており、配達員が不審に感じた場合、社協へ連絡があり、事前に登録している緊急連絡先への連絡や関係機関との連携により緊急時の対応を図っている。 ・ 調理事業者の選択制や利用者の身体状況による糖尿食・透析食等も配食。

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定通り実施。 ・ 利用世帯に支障が生じないように2社体制により配食体制確保に努める。 ・ 大雪時にやむなく欠配することがあり、業者・利用者との連絡調整に努めた。 					

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	3 障がい児者移動支援事業の実施				③②
事業内容	障がいにより移動が困難な方の社会生活上必要な外出・余暇活動・社会参加等の介助のためのガイドヘルパーを派遣。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>江別市が障がい福祉サービス支給を決定した身体・知的障がい児者の外出等の介助のために、ガイドヘルパーを派遣。 ガイドヘルパー数13人、ガイドヘルパー利用者数13人(3年度利用者13人)。</p> <p>【利用件数】 511件(3年度557件) 主に、健康・体力づくりや余暇活動等のための外出等</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由 <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り実施。 ・新型コロナウイルスの長期化により、依頼の減少が継続している。 					

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	4 福祉機器の貸与				③③
事業内容	疾病、怪我等により一時的に必要な場合に福祉機器を貸与。また健康に不安のある方々へ緊急時の連絡用として福祉ベルを設置。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【貸与件数】(延貸与月数) 車椅子 969 件、手動ベッド 72 件、電動ベッド 496 件、歩行器 209 件 合計 1,746 件 (3年度 1,709 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や事業所等の研修用としても貸与。 ・江別ロータリークラブから福祉機器の寄贈有り。 <p>【福祉ベル設置状況】 12 件 (3年度 13 件) * 令和4年4月～令和5年3月の設置件数 0 件、取り外し件数 1 件</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り実施。 	

事業評価書

基本計画	5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供				事業番号
実践事業名	5 北光保育園・野幌季節保育所の運営				③④
事業内容	農村地域等の保育に欠ける児童の子育て支援の一環として、北光保育園・野幌季節保育所を運営。				
事業区分	市補助事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【保育児童数】</p> <p>北光保育園 2歳6人、3歳3人、4歳8人、5歳4人 計21人 (3年度24人)</p> <p>野幌季節保育所 2歳1人、3歳2人、4歳0人、5歳0人 計3人 (3年度8人)</p> <p>・27年度から開始した北光保育園の冬期保育時間の5時までの延長及び野幌季節保育所の年長児の北光保育園での冬期間の受け入れを引き続き実施。おとまり会やバス遠足等の行事は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。入園式や卒園式も規模を縮小して実施した。</p> <p>【野幌季節保育所の閉所】</p> <p>児童数の減少により、保護者・自治会・市と協議し、4年度をもって閉所。5年度より北光保育園に統合することを決定した。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>・複数人のパートを雇用し、保育体制を維持し、安全な保育に努めた。ウイルス感染防止に注意を払い、消毒等を行った。</p>	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	1 組織体制の整備 (1) 行政との連携				③⑤
事業内容	第4期市計画との連携・調整により事業を推進するとともに、安定した組織基盤を整備するため、適宜、社協の運営・事業推進上の課題等について市と協議。				
事業区分	自主事業	方向性	重点	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ・市所管課（管理課）担当職員とくらしサポートセンターえべつ相談員が毎週事業の進め方や相談内容等について支援調整会議を開催 ・江別市成年後見支援センターの運営、受任調整会議の開催内容、市長申立案件について、市所管課（介護保険課）と定期的に協議。【再掲】 ・生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について、市所管課（介護保険課）と具体的な内容について協議。【再掲】 ・第7次江別市総合計画策定にあたり、地域福祉から見る現状と課題についてのヒアリングに協力。 ・特例貸付申請者への自立支援金等の通知発送時におけるフォローアップ体制の構築に協力。 ・野幌季節保育所閉所について協議し、令和4年度をもつての閉所を決定。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総合社会福祉センター利用者に対し、感染症対策ポスター掲示の協力。 ・令和5年度新年交礼会共催。

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由 <ul style="list-style-type: none"> ・市福祉計画と社協実践計画の内容の整合が図られるように市と連携。 ・市受託事業を中心に業務が効果的にかつ円滑に実施できるように必要に応じて市と協議。 	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	1 組織体制の整備 (2) 部会・委員会組織の活性化				③⑥
事業内容	総務・地域福祉の合同部会を開催し、当協議会の運営・事業の質の向上を図るため、その意見を反映、また、広報編集委員会、福祉金庫管理委員会を必要に応じて適宜開催。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【開催状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報編集委員会 4回 (令和4年7月号、10月号、令和4年1月号、4月号の編集) 【再掲】 ・ 福祉金庫管理委員会 1回 (長期滞納世帯の償還金免除) 【再掲】 ・ 江別市成年後見支援センター受任調整会議 4回 (法人後見受任案件についての審議・決定) ・ 合同 (総務・地域福祉) 部会 1回 (第4期地域福祉実践計画における令和3年度分事業の進捗状況に関する評価)

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 受任調整会議においては後見活動に係る専門職の意見を反映。 	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	1 組織体制の整備 (3) 役職員などの研修・資質向上 ア. 役員・評議員研修の実施				③⑦
事業内容	タイムリーな地域福祉の動向や話題等について理解を深めることを目的に、役員・評議員研修を隔年開催。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施しない

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>隔年開催。令和4年度は未実施年度。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>評価対象外事業とした。</p>	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	1 組織体制の整備 (3) 役職員などの研修・資質向上 イ. 職員の資質向上				③⑧
事業内容	職員の専門性を高めるため研修に派遣。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【職員研修】</p> <p>新型コロナウイルス感染対策により参集型の研修会は大きく減り、代わってオンラインやオンデマンド型の研修会が主流となったため、積極的に参加した。</p> <p>主な研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金特例貸付債権管理・償還免除に関する説明会 (5月/オンライン/3人) ・令和4年度災害ボランティアコーディネーターカフェ (6月/オンライン/1人) ・フードバンク窓口連携事業説明会 (7月/オンライン/1人) ・令和4年度会計改善支援事業従事者養成研修 (9月/オンライン/1人) ・地域の支えあい入門研修 (10月/江別市/1人) ・第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 全体会・分科会 (11月/オンライン/1人×6回) ・不登校・ひきこもりを考えるシンポジウム (12月/江別市/2人) ・令和4年度ケアラー支援関係機関職員等研修応用研修 (1月/札幌市/1人) ・令和4年度日常生活自立支援事業指導監督者・専門員研修 (1月/オンライン/4人) ・令和4年度生活支援コーディネーター養成講座フォローアップ編 (2月/オンライン/1人) ・令和4年度地域共生社会推進研究協議会 (3月/オンライン/1人)

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>全部で38の研修会に参加した。 (参集型15、オンデマンド1、オンライン22)</p>	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	1 組織体制の整備 (4) 人事評価の実施				③⑨
事業内容	職員の能力や業務の達成度を客観的かつ公平に評価し、今後の昇進・昇格に活用するため人事評価制度を導入。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>職員自身が担当業務について予め達成目標を設定し、半期ごとに上司が達成度を評価するとともに、当該職員の能力評価を行い、勤勉手当に反映させるほか昇進昇格の参考資料とする。</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
予定通り実施					

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	2 財源基盤の実施 (1) 会員会費制度の定着・促進				④
事業内容	自治会・福祉団体・施設・事業所等に、当協議会への理解と協力を得るため、関係会議での説明等積極的な啓発活動を行い、加入を促進。				
事業区分	自主事業	方向性	重点	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>市民・福祉団体等との協働を進めるうえで基本となる会員会費の周知と協力を依頼。</p> <p>【会員会費納入状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1種会員会費：160自治会中153自治会（38,065世帯）から11,268,300円納入。 * 未納及び300円未満納入自治会については、通知等により再納入依頼を実施。 * 2自治会が200円で納入。 * 1自治会が150円で納入。 ・ 第2種会員（施設）会費：35会員施設278,000円納入。 ・ 第3種会員（団体）会費：94会員団体251,000円納入。 ・ 第4種会員（特別）会費：686個人・事業所から1,228,000円納入。

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>第1種会員会費で定額（1世帯300円）未満の自治会に対しては、今後更に理解と協力を求めていくことが必要。</p>	

事業評価書

基本計画	地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	2 財源基盤の実施 (2) 社会福祉基金の積立・運用				④1
事業内容	寄付金を社会福祉基金として積立、元金が保証される公共債等により安全・確実に運用し、利息を事業財源に充当。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【寄付金積立金合計額】 133,171,461 円</p> <p>【利息積立金合計額】 4,069,847 円</p> <p>【令和4年度寄付実績】 47件 753,392 円</p> <p>【寄付金積立金運用方法】</p> <p style="padding-left: 20px;">公共債、金融機関定期預金等により元年度に引き続き、安全・確実に運用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共債運用 100,000,000 円 (年利率 1.662%) ・ 大口定期預金 <ul style="list-style-type: none"> 10,000,000 円 (年利率 0.002%) 10,000,000 円 (年利率 0.002%) 10,000,200 円 (年利率 0.002%) <p style="padding-left: 20px;">計 30,000,200 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関定期預金等 5,249,261 円 <p>【利息積立金の運用方法及び事業充当額】</p> <p style="padding-left: 20px;">安全確実な方法で運用し、4年度は約 207 万円ほどを除雪派遣サービスやボランティア活動推進・団体育成等に充当。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基金の運用方針通り、寄付金を安全確実に運用。 	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	2 財源基盤の実施 (3) 共同募金からの助成金の確保				④②
事業内容	共同募金からの助成金の確保に努め、事業財源として有効に活用。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>令和4年度の募金実績から令和5年度の社協事業へ共募・歳末助成金として1,810,000円(5事業)を確保した。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
事業に支障のない助成金を確保。	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	2 財源基盤の実施 (4) 一般寄付金の活用				④3
事業内容	寄付金を直接、当該年度の事業に充当できる制度として有効に活用。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<p>【寄付実績】 23件 1,048,685円</p> <p>* 特に、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団からの100,000円の寄付金はボランティア活動の推進に、公益社団法人札幌東法人会からの100,000円の寄付金は新型コロナウイルス感染防止対策に活用。</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5	4	3	2	1
評価理由					
福祉サービスの財源として有効に活用。					

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	2 財源基盤の実施 (5) 各種事業コストの検討				④④
事業内容	事務事業のコストの適正化及び受益者負担のあり方を検討。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績 (令和5年3月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度における北光保育園の保育料について、安定的な運営を行えるよう保育料の改定に向けての検討を行った。 ・ 園児の減少が続く野幌季節保育所の令和4年度での閉所を決定した。 ・ 高齢者、障がい者給食サービスの料金について市と協議し、食材費、燃料費、人件費の上昇に対応するため、令和5年度に向けての基本単価増について協議した。

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も利用料金及び委託料・契約料の適正化について適宜検討が必要。 	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	3 事務事業の改善				④5
事業内容	事務事業を精査し、内容の改善と経費の効率化。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）

主な改善事項

- ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、評議員会の招集または書面による決議を実施。
- ・総合社会福祉センター入口に体温測定器、事務所デスク間にアクリル板を設置し、新型コロナウイルス感染対策を継続実施。
- ・評議員選任・解任委員会の委員構成人数を変更。
- ・事務局体制の整備（権利擁護係新設）。
- ・評議員及び役員の構成人数を変更（次期任期から適用）。
- ・総合社会福祉センター西側駐車場（来館者用）を整備。
- ・書庫を整備。

事務局評価					部会評価				
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
評価理由									
・懸案事項を解決した。									

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	4 地域の福祉課題の把握				④⑥
事業内容	社協の運営・事業に関する全般的な内容や地域の生活課題に関するアンケート調査を実施し、次期実践計画策定などに活用する。				
事業区分	自主事業	方向性	継続	4年度の方針	実施しない

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>地域福祉実践計画では、5年度にアンケート調査を実施し、次期実践計画策定の参考資料とする位置付けとなっていることから、4年度は実施せず。</p>

事務局評価	部会評価				
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1				
評価理由					
令和4年度は実施計画がないことから、評価対象外事業とした。					

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり	事業番号				
実践事業名	5 総合社会福祉センターの管理運営	④⑦				
事業内容	ボランティア団体をはじめ、様々な福祉団体等が利用する地域福祉の拠点施設として運営。					
事業区分	市補助事業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">方向性</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">継続</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">4年度の方針</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>・地域福祉の拠点施設として、また、高齢者が集う交流の場として運営。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、感染症予防対策及び市内感染状況等に応じた貸室等の利用制限の実施、センター利用者へ国が示す「新しい生活様式」を踏まえた注意喚起と感染予防を実施しながらセンター運営を実施した。また、利用しやすい環境整備の一環として西側駐車場の整備を実施した。</p> <p>【利用状況】 利用延人数 32,216人（3年度 26,854人）</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
・新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に運営した。	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり				事業番号
実践事業名	6 防災・災害対策の推進				④8
事業内容	当協議会災害対策計画に基づき、万が一に備えた防災・災害対策を推進、平常時から啓発活動、訓練を実施。				
事業区分	自主事業	方向性	新規	4年度の方針	実施

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年5月27日、第1回災害対策会議を開催。災害ボランティアセンター運営マニュアルを改正し、江別ライオンズクラブ及び江別グリーンライオンズクラブと締結した「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定」内容を追記した。 ・ 令和4年11月14日、第2回災害対策会議を開催。災害発生時における社協内の役割分担を日常業務において結びつきが深い部署の組み合わせに変更した。 ・ 令和4年8月6日開催の「江別市総合防災訓練」に職員が参加し、災害ボランティアセンターの活動事例の啓発や災害関連用品の展示を行った。 ・ 令和4年12月8日開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」に職員が参加し、災害ボランティアセンターの活動事例の報告や災害時における支援団体の活動内容について研修した。 ・ 令和4年10月3日と令和5年3月30日に火災を想定した避難訓練を実施した。

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ボランティアセンター運営マニュアルを現状に見合う内容に改定。 	

事業評価書

基本計画	6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり	事業番号				
実践事業名	7 地域福祉実践計画の進行管理	④9				
事業内容	総務・地域福祉部会において、計画が適正に推進されているかどうかを毎年度評価。					
事業区分	自主事業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">方向性</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">継続</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">4年度の方針</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">実施</td> </tr> </table>	方向性	継続	4年度の方針	実施
方向性	継続	4年度の方針	実施			

令和4年度事業実績（令和5年3月末現在）
<p>令和4年9月29日（木）第1回合同（総務・地域福祉）部会において、第4期実践計画の令和3年度の進捗状況評価を実施。</p>

事務局評価	部会評価
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
評価理由	
<p>実践計画の評価を実施する中で、今後対応すべき課題や重点的に取り組むべき事業を明らかにすることができた。</p>	

4. 評価方法（参考）

1. 評価の基本

- ・ 委員全員が実践事業毎に評価を実施
- ・ 事務局評価の内容も参考に総合的な評価を実施

2. 評価点数の算出方法

- ・ 各個別事業の「達成状況」を評価。
- ・ 基本計画毎の合計得点を事業数で割り、基本計画の評価点を積算。

(例)

基本計画 ■ × × × × ×	4
1. ○○○事業	5
2. ◇◇◇事業	3
3. △△△事業	3

基本計画に含まれる実践事業が3事業、個別事業の評価が5・3・3だった場合
 $(5+3+3) \div 3 \text{事業} = 3.67$
 小数点以下四捨五入 = 4

3. 評価の基準

個別の実践事業について、実績や内容を点検し、当該年度に目標として定めた方向性や指標の数値などと対比し、計画どおり推進されているか等について点検し、その結果について「評価」を行い、更に実践事業の評価内容に基づき、基本計画を評価する。

実績増や内容改善により方向性や指標を大幅に上回ったと判断される場合は「達成状況5」の評価、「達成状況5」の評価には及ばないものの実績増や内容改善が見受けられたと判断される場合は「達成状況4」の評価、ほぼ支障なく推進されたと判断される場合は「達成状況3」の評価、実績減や課題が生じるなど順調ではなかったと判断される場合は「達成状況2」の評価、未実施（未着手）あるいはそれに近い状況だったと判断される場合は「達成状況1」の評価とすることを基準とする。

<評価区分表>

実践事業名の個別評価及び基本計画の全体評価は次の5段階で示す。

評価内容	達成状況(評価点)
非常に評価できる(予定を大幅に上回り推進された)	5
かなり評価できる(予定を上回り推進された)	4
普通に評価できる(予定どおり推進された)	3
少し評価できる(順調に推進されなかった)	2
ほとんど評価できない(全く推進されなかった)	1

※新型コロナウイルス感染防止のため中止した事業は「評価対象外」、明らかに新型コロナウイルスの影響を受け実績が低下した事業については「達成状況3」としてあります。

第4期地域福祉実践計画 令和4年度進捗状況評価報告書

令和5年10月

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会 合同（総務・地域福祉）部会

〒069-0811 江別市錦町14番地87

江別市総合社会福祉センター

電話 011-385-1234

<http://www.ebetsu-shyakyō.jp>